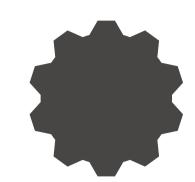


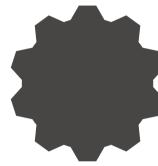
GHOSTーEYE(ゴーストアイ)ワイヤレス送信システムはCINEGEARS INC。ウェブインターフェイスのトレードマークです。



条件の声明

内部構造、デザイン、操作性や信頼を高める事が我々の目的である為、私達CINEGEARS INC. はわずかですが、このマニュアルに乗っている商品と実際販売されているものと少し異なることがあります。

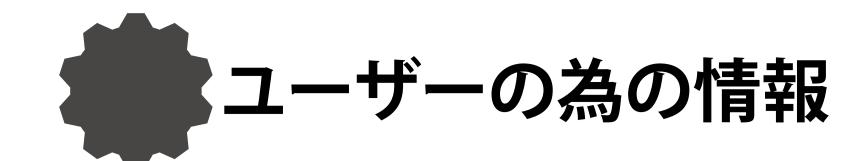
私達CINEGEARS INC. はこのマニュアル通りの扱い方での不都合の責任は負えません。



FCCコンプライアンス情報:ラジオ周波数情報

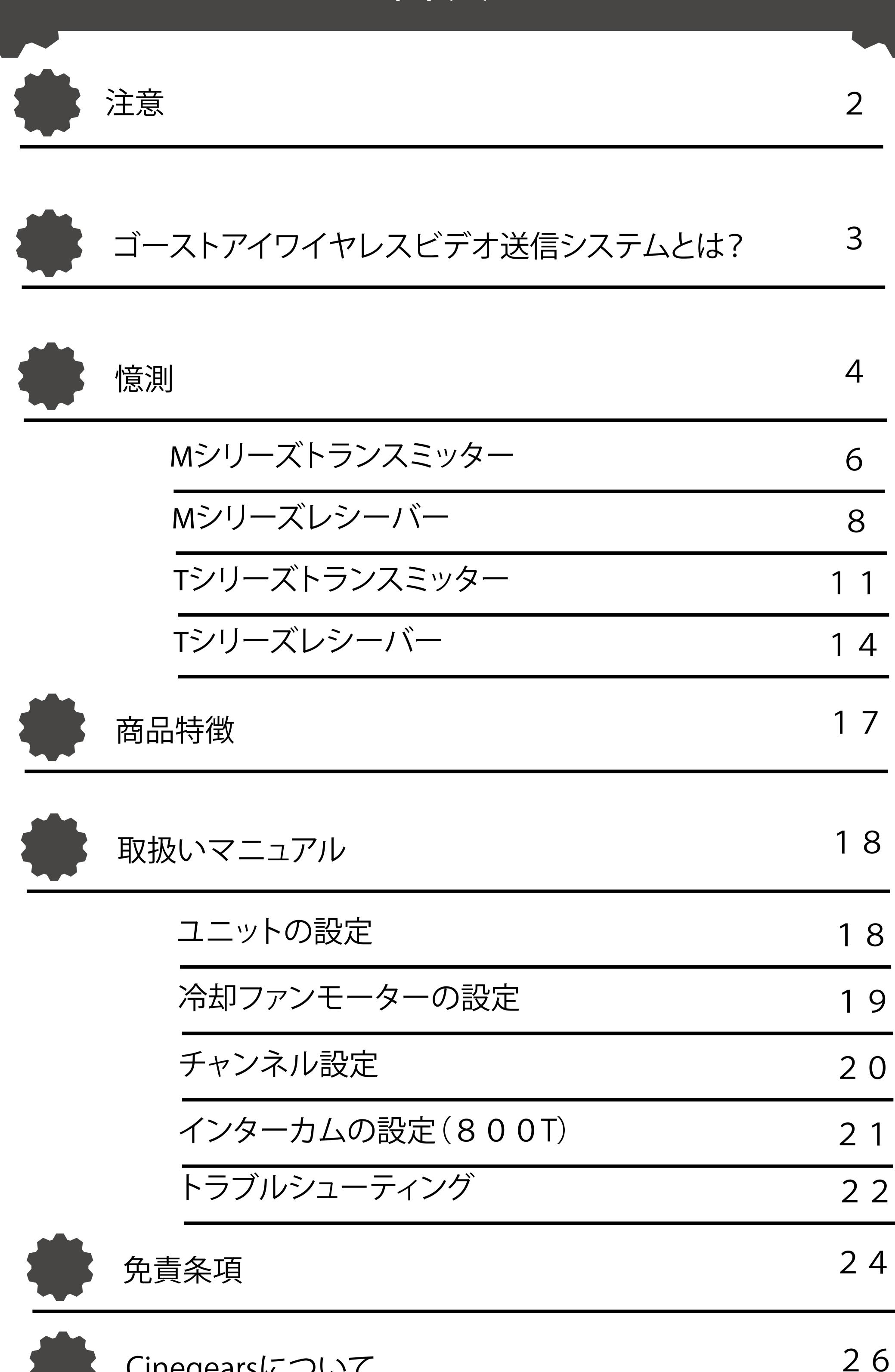
このデバイスはFCC(FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSIONS) 15.247条の条約を満たしました。FCC RF露出要件を満たすため、ユーザーはアンテナから20センチ離れて使用してください。このデバイスはテストを行い、FCCルールパート15によるクラスBデジタルデバイスのリミット内に起動します。このリミットは市街地や住宅街の扱いの際、通信妨害や普段の日常の妨害を防ぐ為に考えられた物です。このデバイスは周波数を生成、使用、そして放射しますが、もし説明上では無い扱いをすれば、ラジオ放送に危険な妨害を与えることがあります。ですが、説明上の扱いをしても危険な妨害を与えないという保証はありません。もしこのデバイスによって危険な妨害がラジオやテレビ放送で見られる場合は、(主にデバイスを付けたり消したりすることで確認できる)ユーザーは妨害を下のとおりに解決する事をおすすめします。

- ・再設定、あるいは違う場所での利用
- •妨害を受けている機材をレシーバーの距離を離れさせる
- ・機材をレシーバーと別の電線に接続する
- ・店で問い合わせる、あるいはTV/ラジオ技師と問いあわせる



この取扱いマニュアル、あるいは説明マニュアルはユーザーがマニュアル上ではない変更、あるいは改造を行なった場合、ユーザーが機材を使う権利を失うことを報告する必要があります。マニュアルが紙以外の状態(コンピューターディスク、あるいはネット上で)で配られる場合、このセクションが必要とする情報はユーザーがいつでもアクセス出来る状態で保存する必要があります。

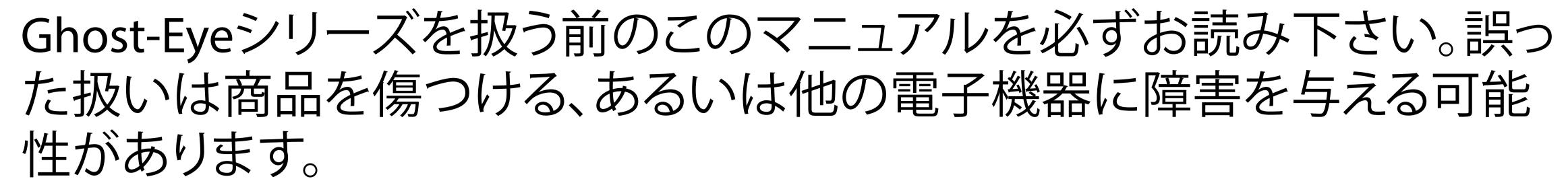
目次





Cinegearsについて

注意



この商品は、高性能な機械である為、取扱いに気をつける必要があります。誤まった扱いは他の撮影用の道具に障害を与える事もあります。

この商品は子どもが一人で扱うことはお勧めできません。無茶な改造や、マニュアル上以外の扱いはしないでください。

この安全ガイドラインには搭載の方法、扱いかた、後メンテ法が乗っています。これマニュアルを読んで説明を従う事、ゴーストアイシリーズの組み立て方、セットアップと扱い方の注意をお守りください

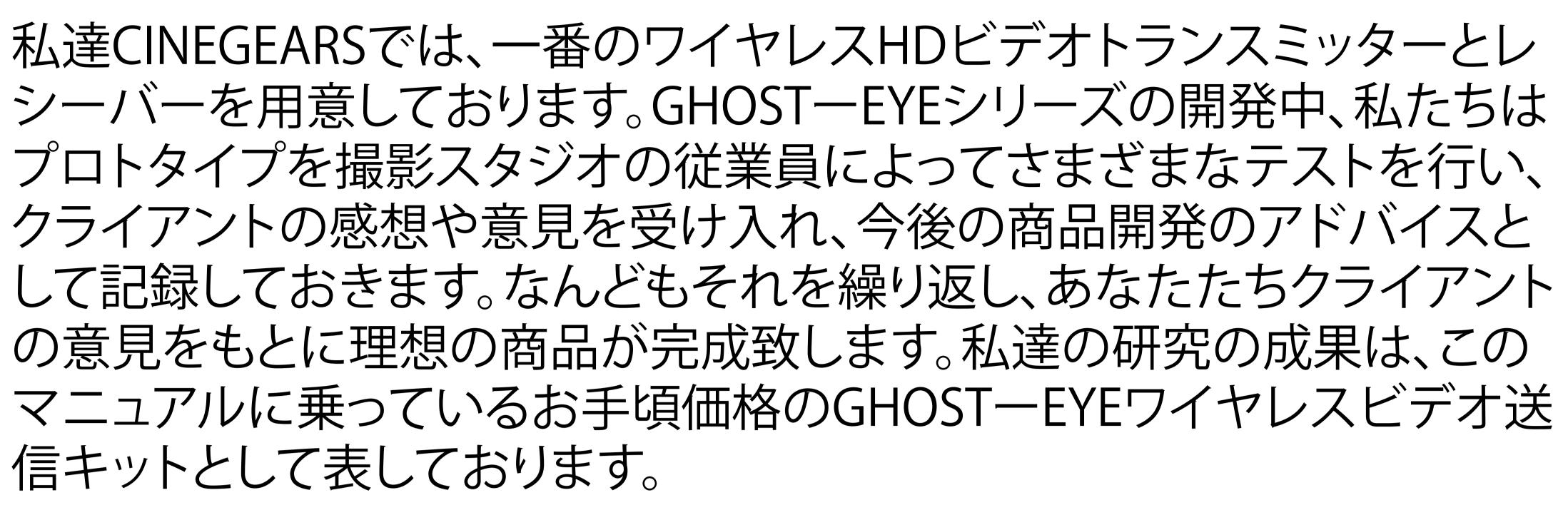
- 1・この商品を熱い環境、寒い環境、ホコリの多い場所や、湿っている場所で使用しないで下さい。
- 2・固い表面に擦らないで下さい。
- 3・高い場所から落としたり、ケースにきちんといれないで持ち運ばないで下さい
- 4・このセットはケース以外防水加工はされていません。 なるべく水分をかけず、水分の多いところでの使用は避けてください
- 5・デバイスの解体、そのあとの組み立てあるいは機械の性能を変換するような事はしないでください

雷線についての注意

- 1・このデバイスがパワー源、あるいはバッテリーを他の機材に分けている場合、ちゃんとバッテリー、あるいはケーブルが接続されているかご確認ください。
- 3・このデバイスがパワー源、あるいはバッテリーを他の機材に分けている場合、コネクターの極性を確認し、中の導体が正の電荷か確認してください。もし中の極性がわからない場合は、マニュアルを読み、SDI/HDMIコネクターの外部導体がパワー源の負の電荷に接続してください。もしこれが守られていない場合は、ほかの機材にGHOSTーEYEから同じ電力を送ることはできません

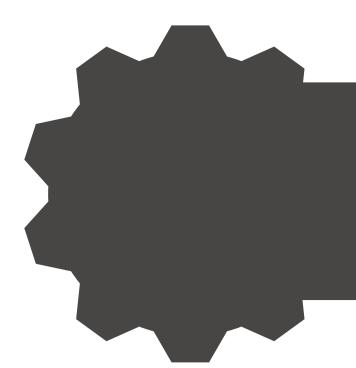






GHOSTーEYEワイヤレスビデオ送信キットはどんなワイヤレスHDビデオ送信の問題でも解決いたします。わが社の強力なワイヤレスビデオトランスミッターとレシーバーも大手撮影スタジオのも役に立つこと間違いなし、おまけに軽くコンパクトな作りの為、置く場所や装着する場所にも困らない!GHOSTーEYE送信キットは10ビット、4:4:4ビデオを収納、送付可能の上、HDとSD両方にわずか1秒の潜在時間で対応する事が可能です。





憶測

商品	憶測
周波数範囲	5.1 — 5.9 (GHz) 地域によって範囲が異る
	2.4 — 2.4 8 3 GHz (ISMバンド付き)
変調方式と大域幅	OFDM/40GHz(動画の際)
クスロリノノエしてノインス中田	GFSK/1MHz(インターカムシステムの際)
対応可能なビデオフォーマット	PCM、DTS—HD、DolbyTrueHD
タイムコード	SMPTE – 1 2 M
送信範囲	600M: 600メートル(2000フィート) 1000M: 1000メートル(3250フィート) 800エ: 800メートル(2500フィート) 800エ: 800メートル(2500フィート)
トランスミッター	
アンテナ	外部アンテナ5G2本
<u>`</u> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	外部アンテナ 2 . 4 G 2 本 1 8 dBm
機能インターフェイス	
マウント構造	1・4インチホットシューアダプター
OLEDディスプレイ	チャンネル情報、ビデオスタータス、バッテリー容量 、スタータスメニュー、音声ボリューム
パワー源	DCインプットによる9-18V、 F550 •F9 70バッテリー
パワー消費量	7.5—8.5W



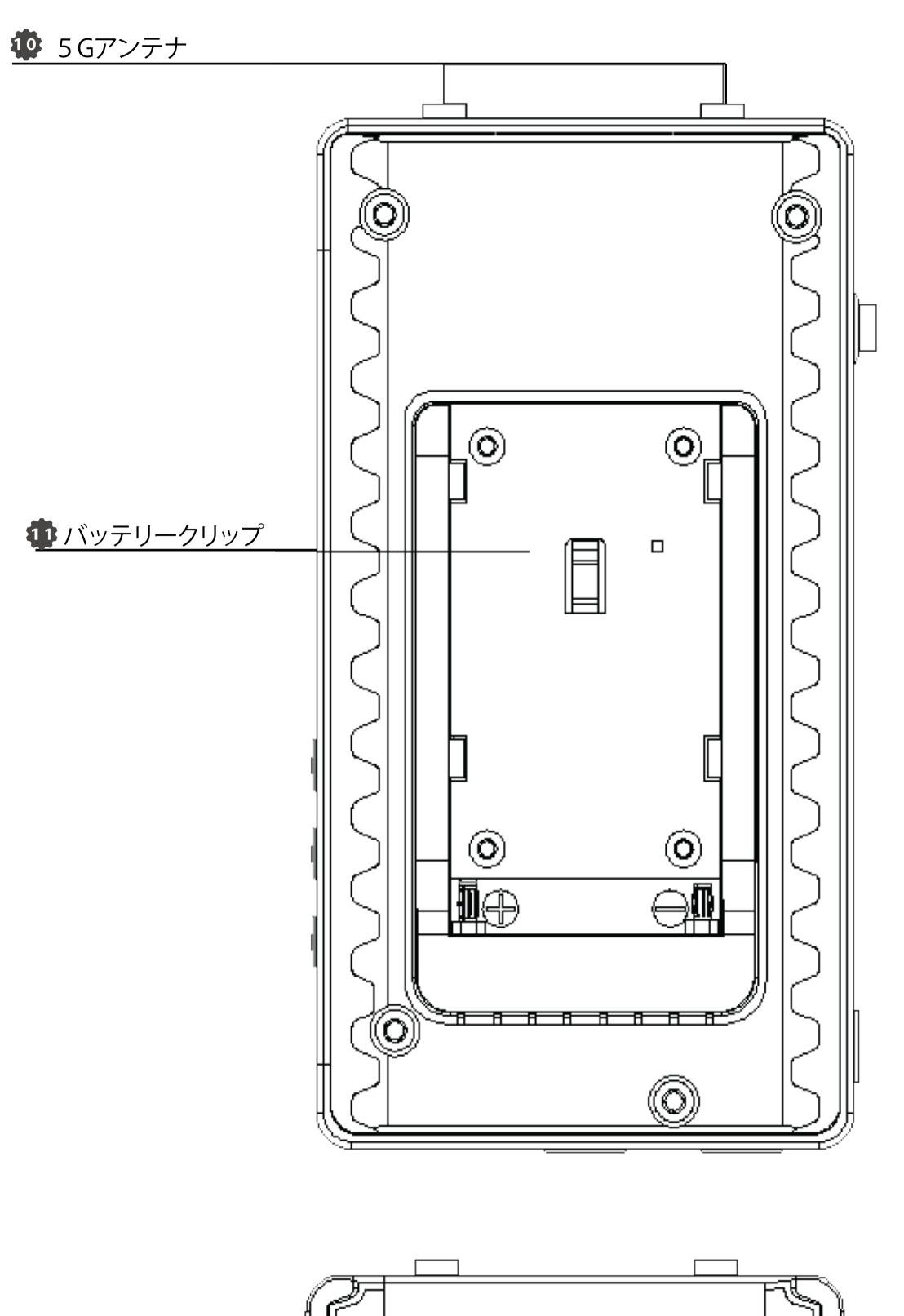
本体重量(アンテナ付き)	400グラム
大きさ	142X76X24.3ミリ
本体温度	一10一50(起動中)、一40一80(停止中)
	レシーバー
アンテナ	外部アンテナ 5 G 5 本 外部アンテナ 2 G 1 本 (Tシリーズ)
受信感度	— 7 0 dBm
機能インターフェイス	SDIデゥアル出力、 HDMI出力、ミニUSB、LEMOパワーイン、アンテナRPSMAソケット、 電源オン/オフ800Tと800TCシリーズ: 3.5ミリ HP/MICソケット、3.5ミリ TALLYソケット、LEMO 6ニードル
搭載位置構造	1・4インチホットシューアダプター
OLEDディスプレイ	チャンネル情報、信号強度、電源情報、電源情報 TALLY インジケータ
パワー源	DCインプットによる 9 ー 1 8 V、 SONY Vマウントバッテリー
パワー消費量	7.5—8.5W
本体重量(アンテナ付き)	800グラム
大きさ	169.5X122X25.2ミリ
本体温度	一10一50(起動中)、一40一80(停止中)

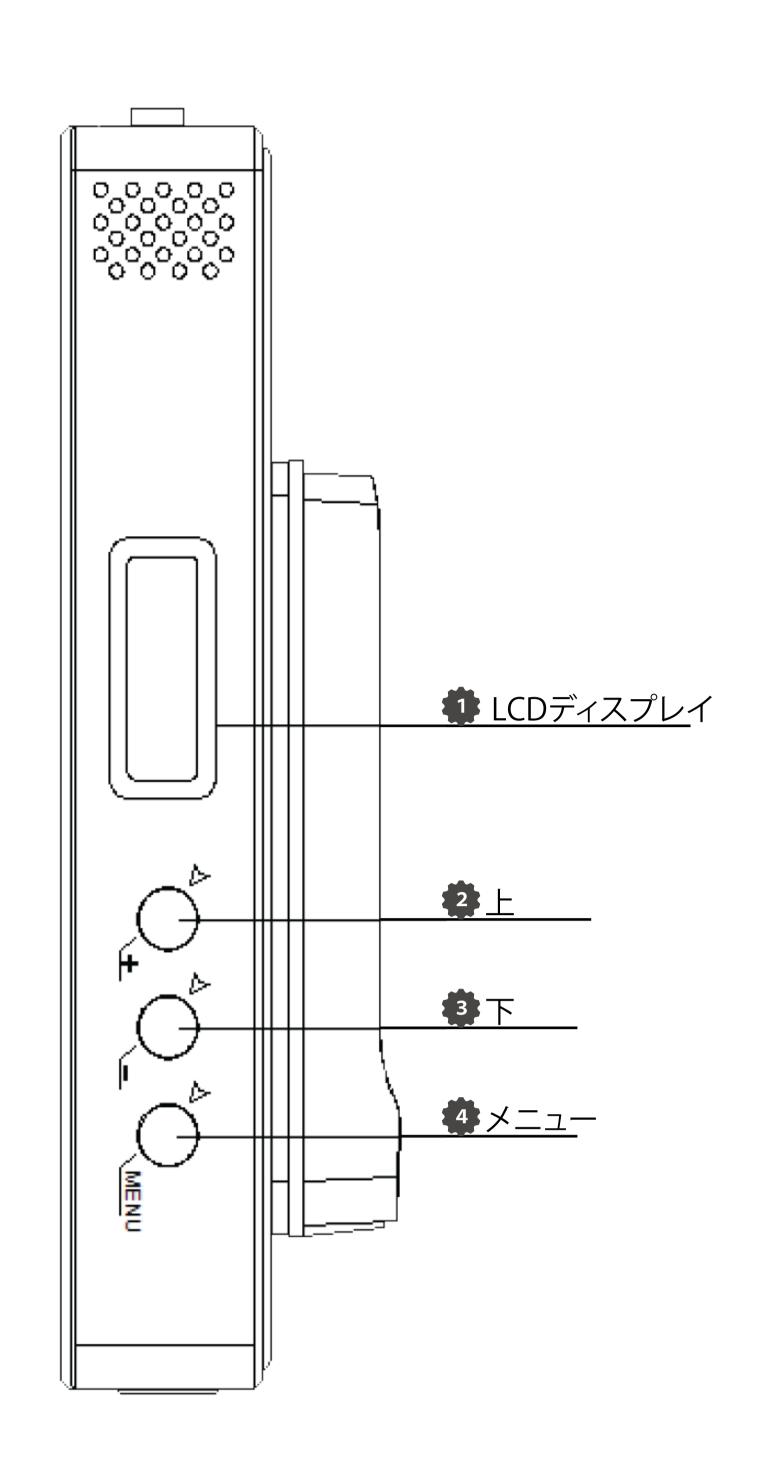
商品は日々改修を続けている為パフォーマンス、デザインや憶測が少しだけ異ることもあります。

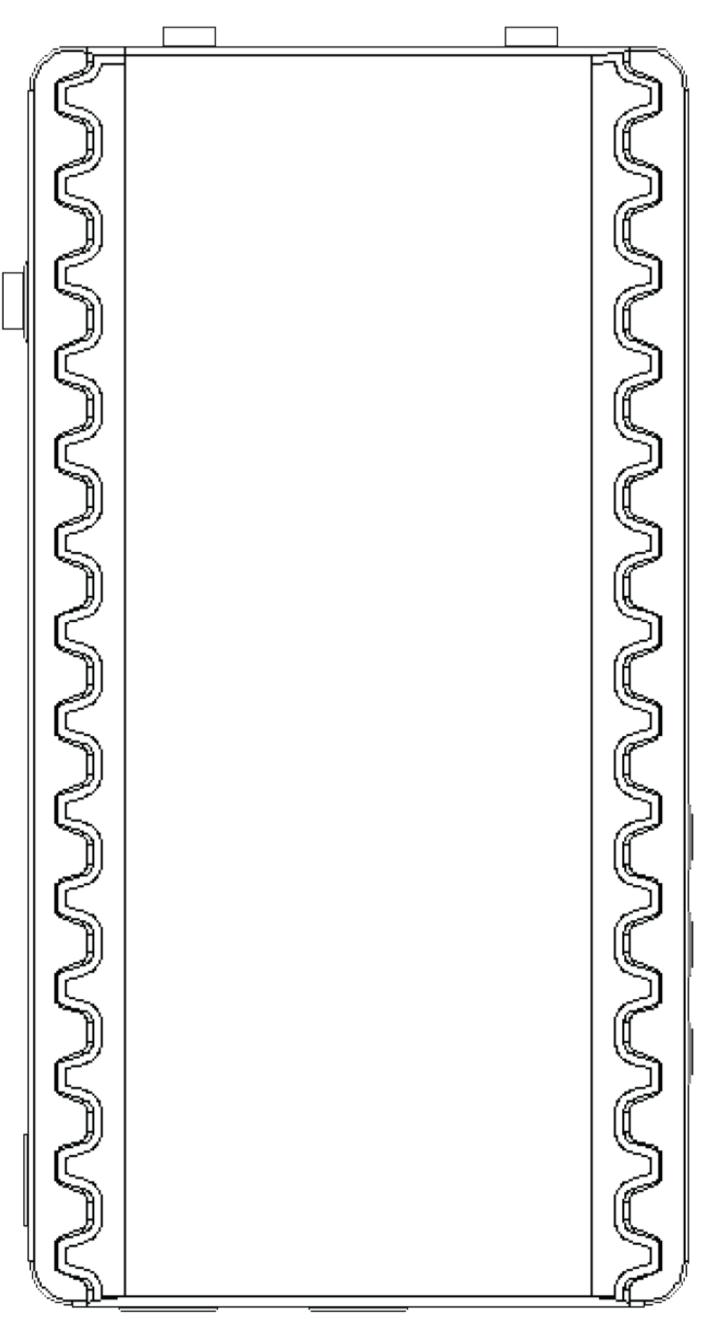
Tシリーズは主に800Tと800TCシリーズを指します

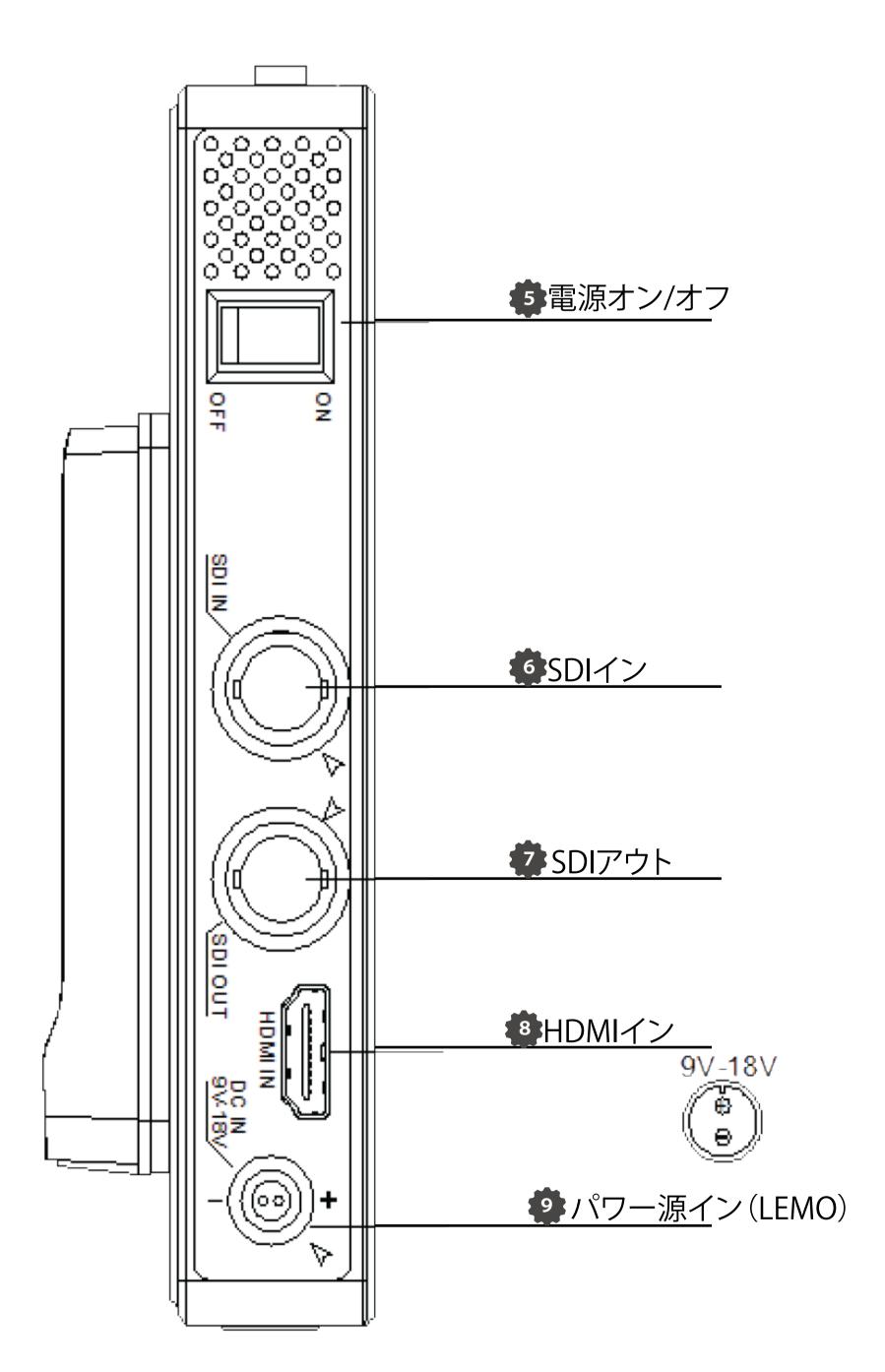


Mシリーズトランスミッター







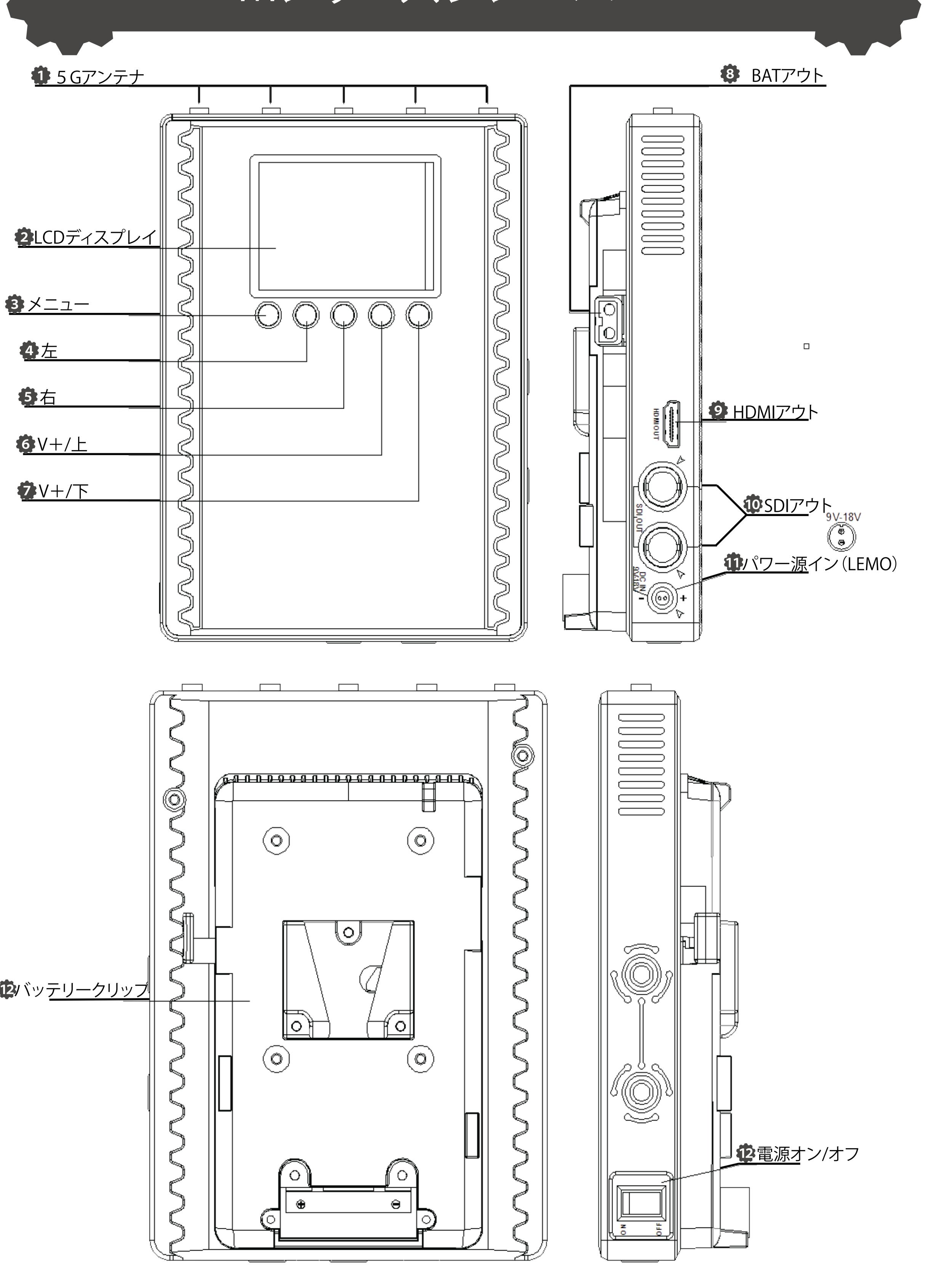


Mシリーズトランスミッター

	構造		
	LCDディスプレイ		
	チャンネル情報、Videoの状態、バッテリー容量を表示		
	上ボタン		
	チャンネル上げ		
	下ボタン		
3	チャンネル下げ		
	メニューボタン		
4	チャンネルを解除、選択を決定		
	電源オン/オフ		
5	トランスミッターの電源を入れる、あるいは切る		
	SDIイン		
6	SDIのビデオ源と接続		
7	SDIアウト(ループ)		
	モニターと接続		
8	HDMIイン		
	HDMIのビデオ源と接続		
9	パワー源イン (LEMO)		
	9 — 1 8 Vと対応		
10	アンテナコネクター X2		
	アンテナ装着		
1 1	バッテリークリップ		
	バッテリー装着位置、F550/F970に対応		



Mシリーズレシーバー



Mシリーズレシーバー

	構造		
	アンテナコネクター X5		
	アンテナ用のRPSMAコネクター		
	OLEDディスプレイ		
	チャンネル情報、信号強度、バッテリー容量		
	メニューボタン		
3	解除、選択を決定		
	左/上ボタン		
4	チャンネル下げ		
	右/下ボタン		
5	チャンネル上げ		
	V+/上ボタン		
6	音声上げ、この型では使用不可		
	V一/下ボタン		
	音声下げ、この型では使用不可		
8	BATアウト		
	バッテリーから外部整備にパワーを送る		
9	HDMIアウト		
	HDMI対応モニターと接続		
10 SDIアウト			
	SDI対応モニターと接続		

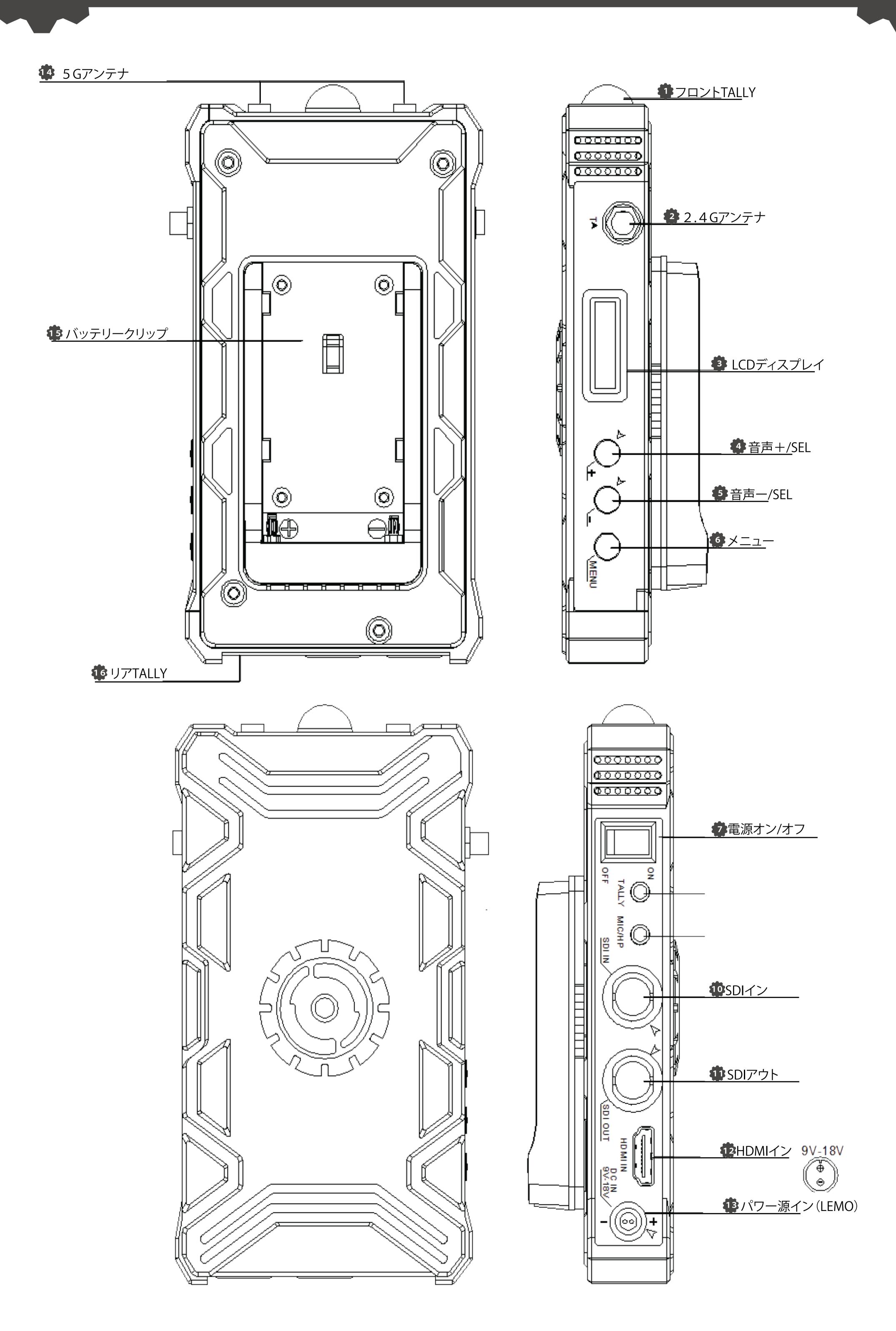




Mシリーズレシーバー

構造		
1 1	パワー源イン (LEMO)	
	9 — 1 8 Vと対応	
1 2	バッテリークリップ	
	Vマウントバッテリーに対応	
	電源オン/オフ	
13	レシーバーの電源を付ける、あるいは切る	

Tシリーズトランスミッター





Tシリーズトランスミッター

	15ミリフロントTALLYインジケータ(赤/黄色)		
	リア/フロントと外部TALLYインジケータ色は同じ		
	2 Gアンテナコネクター		
	2.4Gアンテナ用のSMAコネクター		
	OLEDディスプレイ		
3	チャンネル情報、Videoの状態、信号強度、バッテリー 電力インジケータ、メニュー情報を表示		
	音声上げ、十/上ボタン		
4	普段は音声をあげる機能、だがメニューモードで上ボ タンとして使える		
	音声下げ、十/下ボタン		
5	普段は音声を下げる機能、だがメニューモードで下ボ タンとして使える		
	メニューボタン		
	メニューモードに入る、メニューモードでは決定ボタン になる		
7	電源オン/オフ		
7	トランスミッターの電源を入れる、あるいは切る		
	3.5ミリ外部TALLY出力インターフェイス		
8	最大出力は20mA、LEDに対応可能		
	3.5ミリ MIC/HPインターフェイス		
9	外部コンバーターボックスと接続		
	SDIイン		
10	SDIのビデオ源(3G-SDI、HD-SDI、SD-SDIに対応) と接続		

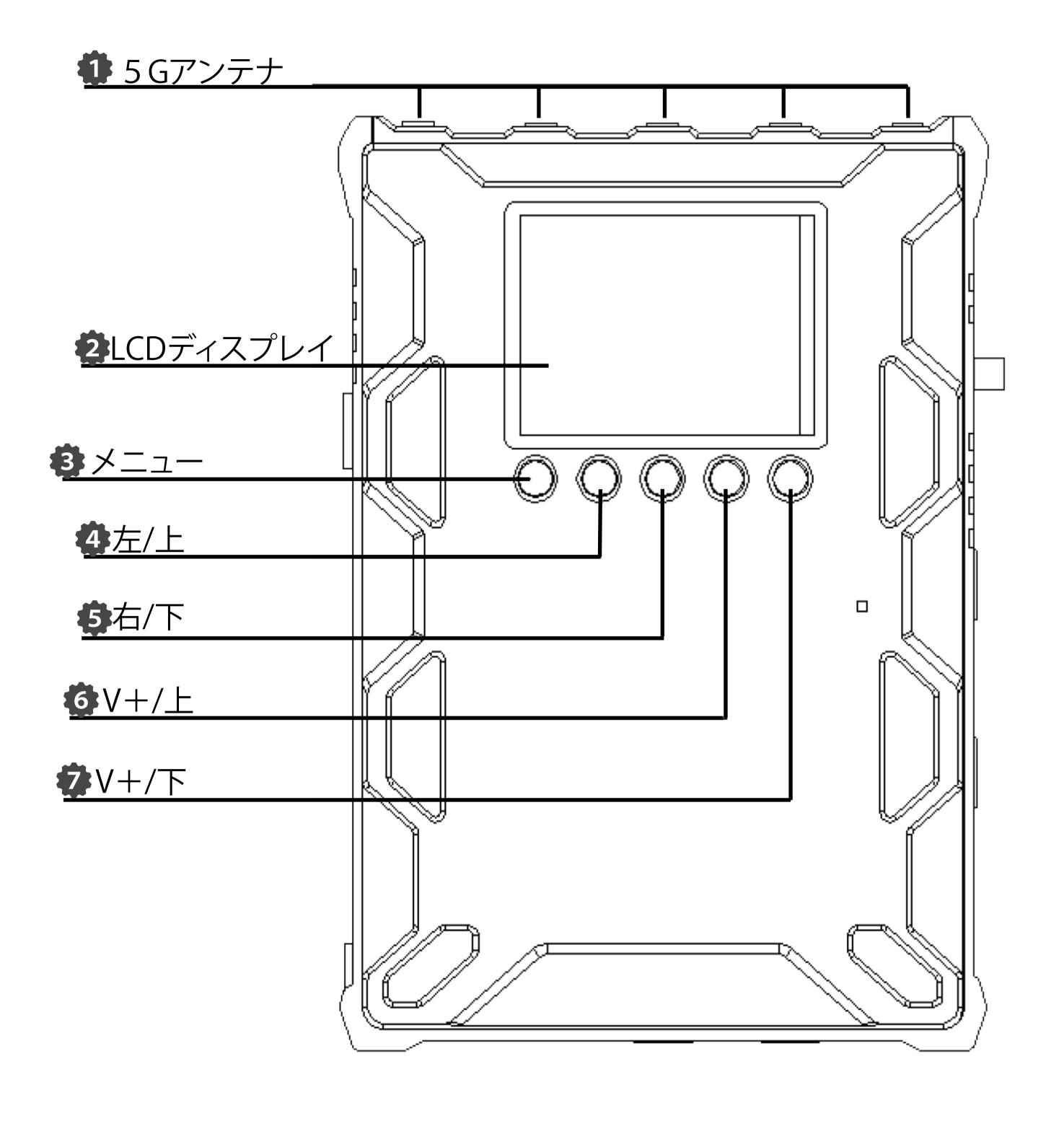


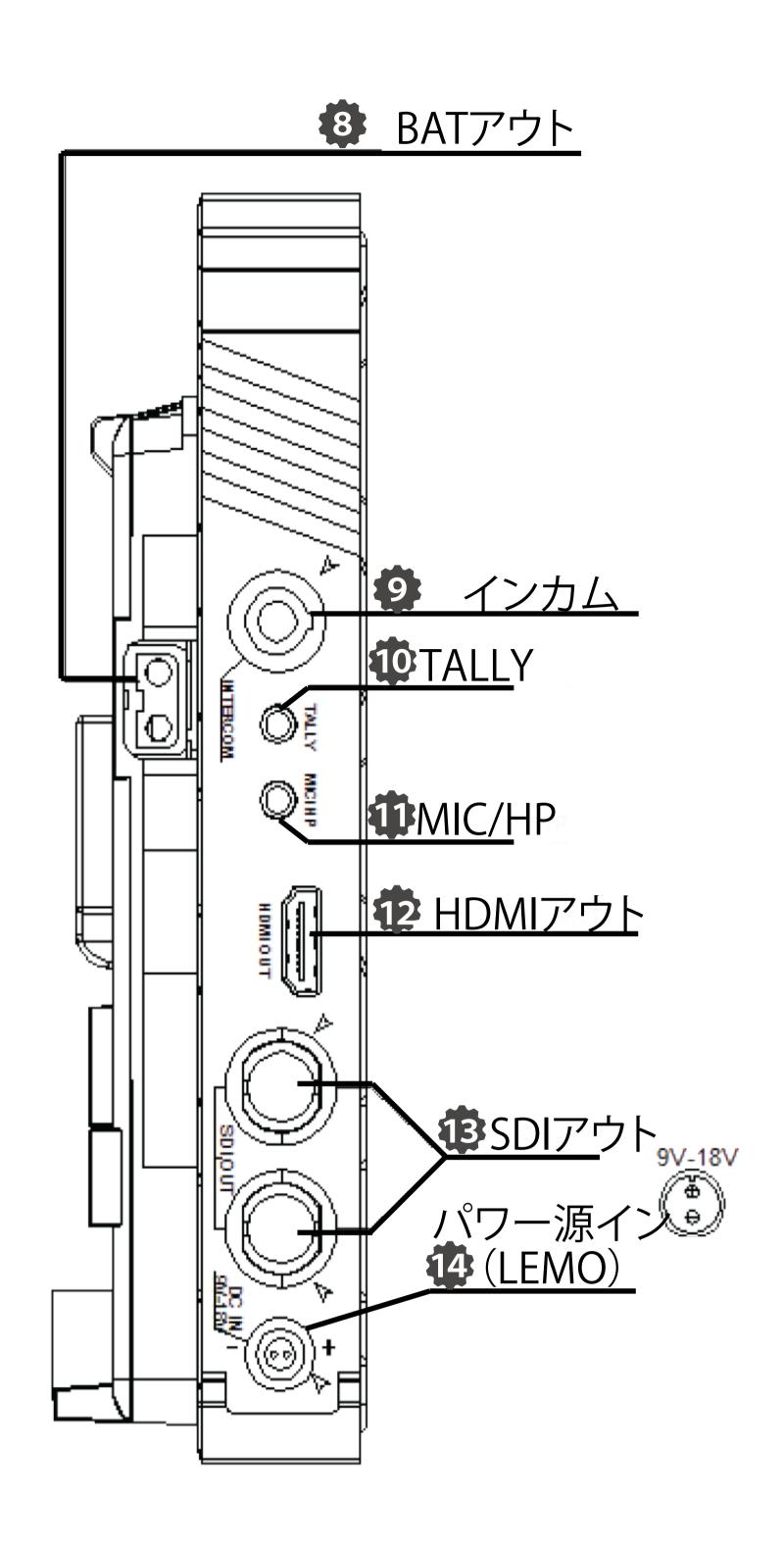
Tシリーズトランスミッター

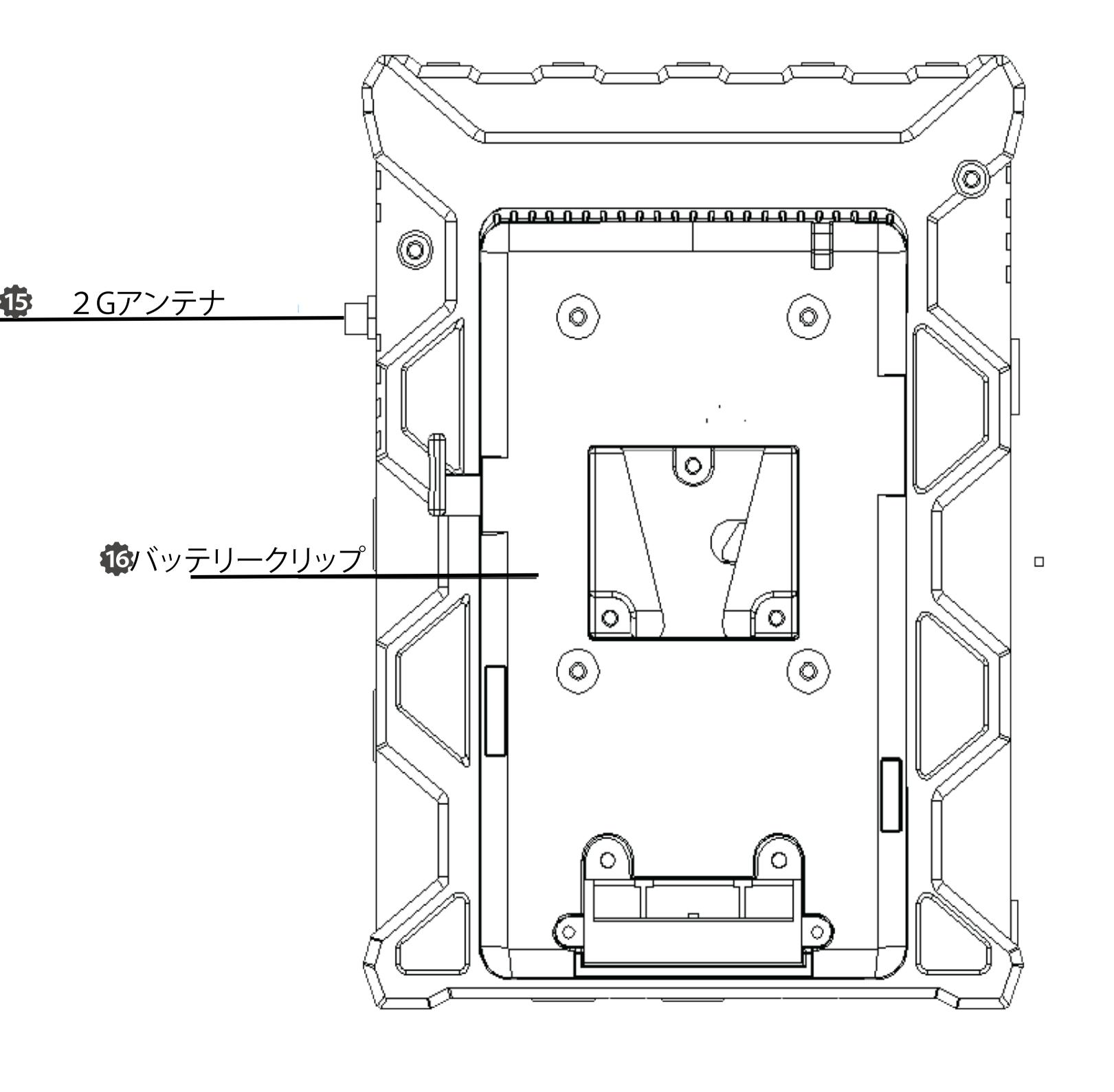
構造		
1 1	SDIアウト(ループ)	
	他のSDI機材と接続可能	
1 2	HDMIイン	
	HDMIのビデオ源と接続可能	
1 2	パワー源イン (LEMO)	
13	9 — 1 8 Vと対応	
1 4	5 Gアンテナコネクター	
	アンテナ用のRPSMAコネクター	
4 5	バッテリークリップ	
	バッテリー装着位置、F 5 5 0 /F 9 7 0 に対応	
1 6	リアTALLY(赤/黄色)	
16	リア/フロントと外部TALLYインジケータ色は同じ	

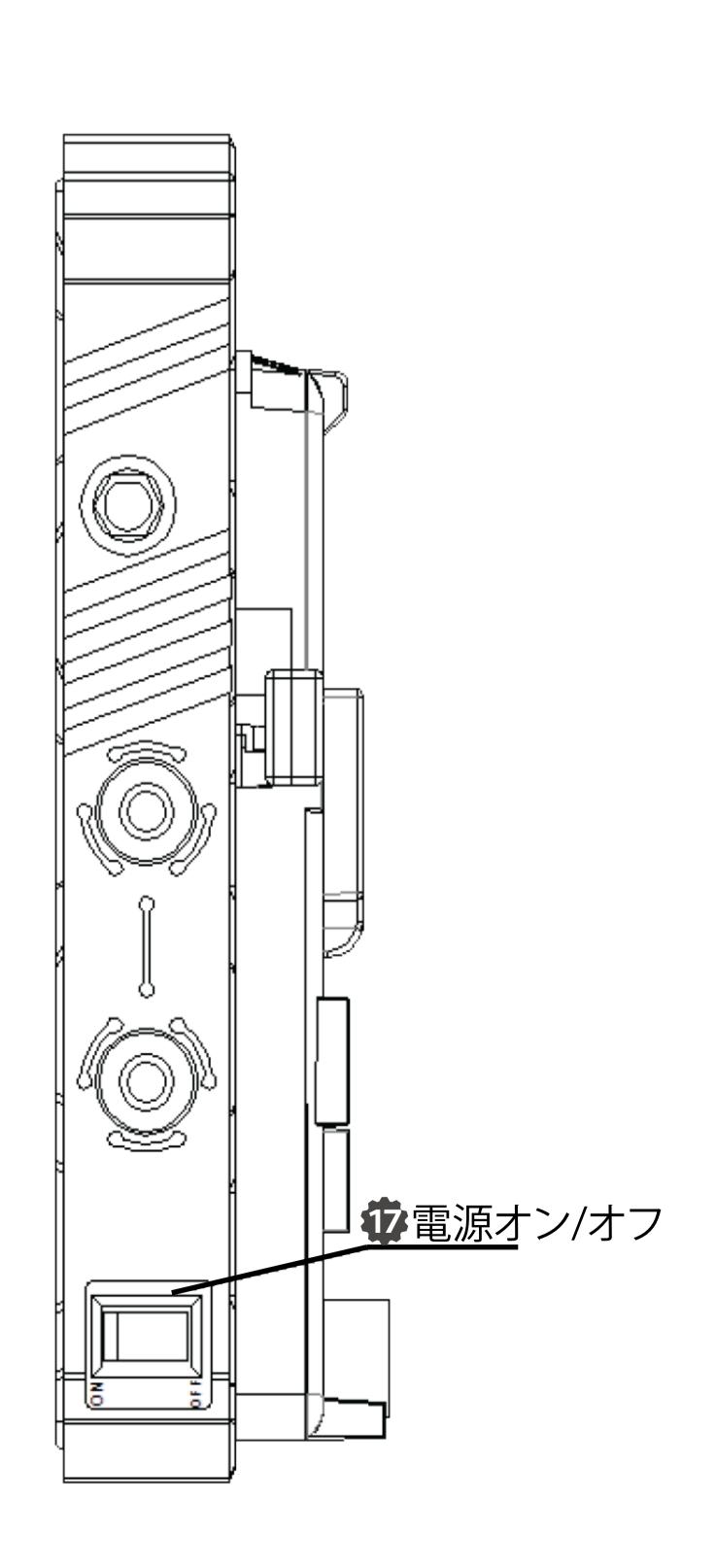


Tシリーズレシーバー









Tシリーズレシーバー

	構造		
1	5Gアンテナコネクター X5		
	アンテナ用のRPSMAコネクター		
	OLEDディスプレイ		
	チャンネル情報、信号強度、バッテリー容量、音声量と メニュー情報を表示		
	メニューボタン		
3	解除、選択を決定		
	左/上ボタン		
4	チャンネル選択		
	右/下ボタン		
5	チャンネル選択		
	V+/上ボタン		
6	音声上げ		
	V一/下ボタン		
	音声下げ		
Ω	BATアウト		
	バッテリーから外部整備にパワーを送る		
9	インカム		
	TALLYとインカムシステム用の 6 ピンLEMO		
1 0	3.5ミリ外部TALLY出力インターフェイス		
	最大出力は20mA、LEDにしか対応		



Tシリーズレシーバー

	構造		
1 1	3.5ミリMIC/HPインターフェイス		
	外部のマイクとヘッドフォンに接続可能		
1 2	HDMIアウト		
	HDMI対応モニター、あるいはHDMIのレシーバー		
	とデバイスと接続		
13	SDIアウト		
	SDI対応モニター、あるいは同じことビデオ出力の		
SDIデバイスと接続			
14	パワー源イン (LEMO)		
	9 — 1 8 Vと対応		
1 5	2.4Gアンテナコネクター		
	2.4Gアンテナ用のSMAコネクター		
	バッテリークリップ		
16	Vマウントバッテリー用プレート(ディフォルト)		
	電源オン/オフ		
17	レシーバーの電源を付ける、あるいは切る		



商品特徵



- **潜在を1ミリ秒以下に短縮**

 余計なビデオ送信妨害もなく、リアルタイムで現場で使う事が可能
- マルチキャスト対応 一つのトランスミッターから多数のレシーバーに対応可能。 使用者はトランミッターとレシーバーに対応するようにチャンネル をセット可能
- ♠ 免許無用で周波数を使用可能 免許無用で5.2 − 5.9 GHzと 2.4 G ISMバンドのワイヤレス 周波数を使用可能
- 内部の高性能冷却ファン 音も小さいTXサイド内部高性能冷却ファンを内蔵
- # AES 128暗号化
- ◆ フロントとリアTALLYインジケータ(Tシリーズ) 外部リストように3.5ミリジャックTALLYを搭載(最大出力は 20mAだが、このキットには付属していない)
- コネクターインカムシステム用の6ピンLEMOコネクター (Tシリーズ)
- 簡単接続と通信 このワイヤレスシステムは接続するだけで簡単使用。ソフトウエアの搭載など不要



1・ この3本のアンテナをトランスミッターに固定し、一番の結果を出したい場合、下の図のようにアンテナを曲げる事。



2 ・ トランスミッター側で、SDIとHDMIが両方使用されている場合、トランスミッターは自動的にSDI信号を使用する。

3 · この6本のアンテナをレシーバーに固定し、一番の結果を出したい場合、下の図のようにアンテナを曲げる事。



4・レシーバーを高い位置で使用することで送信距離が精密になる



- ★ SDI、あるいはHDMIビデオ源をトランスミッターをSDIイン/HDMIインに接続すること(もし両方が使用されている場合、SDIが自動的に使用される)
- もし必要ならば、SDIアウト(ループ)を他の機材と接続可能
- ▶ トランスミッターにパワー源に接続、あるいはF550/F970バッテリーをバッテリークリップに取り付ける。
- トランスミッターの電源を入れる
- ★ チャンネルをセットする(トランスミッターとリシーバレシーバーのチャンネルは必ず両方を同じにする)

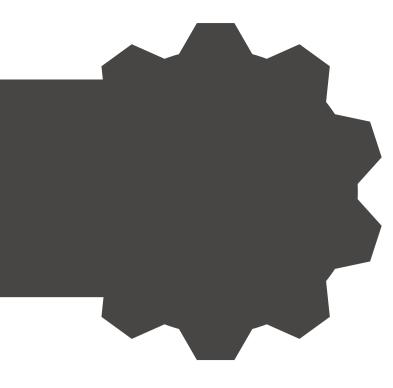
レシーバー

- 6本のアンテナを固定する事(5Gを5本、2.4を1本)
- ◆ レシーバーのSDIアウトとHDMIアウトをモニターか、他のデバイスに接続する
- ◆ レシーバーにパワー源ケーブルを接続、あるいはVロックバッテリーをバッテリープレートに装着する
- レシーバーに電源を入れる
- チャンネルをセットする(トランスミッターとレシーバーのチャンネルは必ず 両方を同じにする。)
- ★ チャンネルをセットする(トランスミッターとリシーバレシーバーのチャンネルは両方同じにセットする)
- 5秒か10秒後にビデオ送信はモニターに表示される。

冷却ファンを起動、停止

- トランスミッターの+、あるいはーボタンを押す
- ★ +を押す事でファンのモーターの速度、起動/停止を操作する
- ★ メニューボタンを押す事でファンの起動/停止操作を選択できる
- +と一ボタンでファンを起動、あるいは停止する
- ★ メニューボタンで決定する





チャンネル設定

トランスミッターとリシーバー両方はディフォルトで同じチャンネルにで設定されています。もしチャンネルを変えたい場合、下の説明をお読みください。

注意:トランスミッターとレシーバーは両方同じチャンネルでなければ仕様は できません。

チャンネル変更 (トランスミッター)

- トランスミッターを起動する
- ◆ メニューボタンを押し、上、あるいは下ボタンを押し、「CHANNEL SET」が 画面に表示がしたらそれを選ぶ
- ◆ 上、あるいは下ボタンでチャンネルを選び、メニューボタンを押して決定する
- トランスミッターのチャンネル設定は完了

チャンネル変更 (レシーバー)

- ・レシーバーを起動する
- ★ メニューボタンを押し、ディスプレイにアンロックアイコンが映るまで押し続ける
- ◆ 上、あるいは下ボタンでチャンネルを選び、メニューボタンを押して決定する
- レシーバーのチャンネル設定は完了



- 電源を接続した後、トランスミッターとレシーバーの電源を つける
- トランスミッター側でTALKがコンバーターボックスが押されていない場合、 レシーバーから音が鳴る
- ♣ コンバーターのTALKボタンを押せば、レシーバーとトランスミッターの会話 モードが起動する
- ♣ トランスミッターのCALLボックスのCALLボタンを押す事でレシーバー側に音が流れる
- 配信切替機のTALLYが起動した時、レシーバーOLEDの部分が赤く光る。同時にTALLYのLEDがトランスミッターで光る。(好みでリストインジケーターも搭載できる
- ★ 注意:外部TALLY (リストLED) インターフェイスは3.3 V@20mAにしか対応できません

インカムシステムペアリング

- ♣ トランスミッター側(TX):メニューボタンを最初に押し、次に上、あるいは下ボタンを押し、TALK PAIRがスクリーンに表示したら、メニューボタンを押して決定する。
- レシーバー側(RX):VOLーボタンを最初に押し、右ボタンでインカムペアリングモードを起動する。
- ♣ トランスミッター側(TX)が自動的に再起動するが、レシーバー側(RX)は 手動で再起動する。
- 両方が再起動した後、インカムシステムペアリングはインカム完了する



トラブルシューティング もしもレシーバーが動画をうまく表示できない場合、下の表を見て対策法を確 認してください

問題		対策法	
	WAITING FOR CONNECTIONがモ	ニターに長い間表示されている	
	トランスミッターの電源が入っていない	トランスミッターの電源を入れる	
	トランスミッターとリシーバーがちゃん と取り付けられていない	トランスミッターとレシーバーをしっか り取り付ける	
	トランスミッターとリシーバーの距離が 離れすぎる	トランスミッターとレシーバーの距離を 縮める	
テレバ	TXとRXの間に厚い壁が複数ある	TXとRXの間になるべく障害物が少ない場所に使用する	
しから	TXとRXの間に障害が沢山ある	レシーバーをトランスミッターに近づけ る	
の 0 5	ほかのトランスミッターが同じ、あるい は隣接のチャンネルを使っている	他のトランスミッターを停止する、あるいは他のチャンネルを使う	
D	ビデオ信号が届かない		
情報	トランスミッターとビデオ源が接続され ていない	トランスミッターとビデオ源を SDI/HDMIケーブルで接続	
	ビデオ源が停止している	ビデオ源をを起動する	
	トランスミッターのケーブルが接続不可 能	トランスミッターのケーブルを 取り外し、また取り付ける	
	トランスミッターが不正常に稼働する	トランスミッターを再起動する	
	TXとビデオ源を繋げるケーブルに不具合	SDI/HDMIケーブルを取り替える	
	プレイヤーが出力の画質に対応できない	出力のビデオの画質を他のモードに切り 替える	
	TV/モニターがHDCP認証に対応できない	TV/モニターをHDCP認証に対応できるものと取り替える	

	信号インプットがレシーバ	ーかTV/モニターに無い	
	レシーバーの電源が入っていない	レシーバーの電源を入れる	
	レシーバーとTVが繋がっていない	レシーバーとTV・モニターをSDI/HDMI ケーブルで接続する	
—	TV/モニターがSDI/HDMインプットに切り 替えていない	TV/モニターがSDI/HDMインプットに切り替える	
	TV/モニターとレシーバーを接続するケー ブルの不具合	SDI/HDMIケーブルを取外し、また取り付 ける	
からの	TV/モニターが/スタンドバイモードになる	TV /モニターをオペレーションモードに切り替える	
0 S	レシーバーが不正常に稼働する	レシーバーを再起動する	
	TV/モニター/に画像が表示されない		
情報	レシーバーかケーブルの不具合	レシーバーのケーブルをTV/モニターに再 接続	
	リシーバーが不正常に稼働する	レシーバーを再起動する	
	レシーバーが故障する	購入した店に連絡、あるいは会社に	
	異常な色がモニター		
	レシーバーのケーブル、あるいはTV/ モ ニターの不具合	レシーバーのケーブル、あるいはTV/ モニターのHDMIケーブルを取り外し、取り付ける	
	トランスミッターのケーブル、あるい はビデオ源の不具合	トランスミッターのHDMIケーブル、ある いはプレイヤーのを取り外し、取り付け る	
	トランスミッターかレシーバーが不正常 に稼働する	トランスミッターとレシーバーを再起動 する	

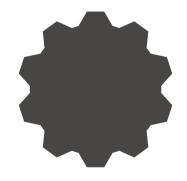




このデバイスはテストを行い、FCCルールパート15によるクラスBデジ タルデバイスのリミット内に起動します。このリミットは市街地や住宅街 の扱いの際、通信妨害や普段の日常の妨害を防ぐ為に考えられた物で す。このデバイスは周波数を生成、使用、そして放射しますが、もし説明上 では無い扱いをすれば、ラジオ放送に危険な妨害を与えることがありま す。ですが、説明上の扱いをしても危険な妨害を与えないという保証は ありません。もしこのデバイスによって危険な妨害がラジオやテレビ放 送で見られる場合は、(主にデバイスを付けたり消したりすることで確認 できる) ユーザーは妨害を下のとおりに解決する事をおすすめします。

- ・再設定、あるいは違う場所での利用
- •妨害を受けている機材をレシーバーの距離を離れさせる
- ・機材をレシーバーと別の電線に接続する
- ・店で問い合わせる、あるいはTV/ラジオ技師と問いあわせる

なお、マニュアル上以外の行動、改造や変更を行う事でユーザーの機材 を使う権利を無くす可能性があります。(なるべく、特別製のインターフェ イスケーブルを使用し、コンピューター、あるいは別の装置につなげてく ださい)



FCC放射能露出ステートメント

この機材は制御できない環境で使用の際、FCC RF露出条件を満たして います。

このトランスミッターは他社のアンテナやトランスミッターと同時にに使 用、あるいは連結しての使用は避けてください。

この機材はFCCルールパート15ルールの条件を満たしております。 このデバイスの使用の際、下にある2つの条件を守り、使用してください。

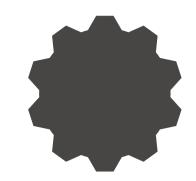
- 1・デバイスは周りに危害を加える通信妨害が目的で使用しない事
- 2・デバイスはたとえ不正常に起動しても、通信妨害を受け入れるように セットしておく事。



製造会社は無茶な改造によって発生するラジオやテレビの 通信妨害の責任を負うことはできません。そのような改造 はユーザーの使用権利を無くすことがあります。



免責条項



規約と条件

我が社CINEGEARSの新商品のお買い上げ、おめでとうございます。商品を使用する前に、このマニュアルをよくお読みください。この商品を使用することは、あなたはこのマニュアルを読み、条件や注意点を理解したという事になります。我が社の商品を使用する事で、もしもの時責任はあなたが背負う事になります。あなたはこの商品を規則正しく、マニュアル上のポリシーやガイドラインを守り使用することを理解したという事になります。

この免責条項を読む事で、あなたは以下の条件を認めます:

- 1・この免責条項のいずれかのセクションが報告無しで変更されることがあります。 詳しくはCINEGEARS. COMで最新版をお読みください
- 2 · CINEGEARSはこの免責条項に最終的な解釈を行うことは認められております

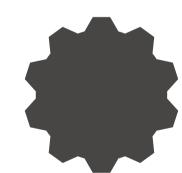
CINEGEARSとフォローフォーカスキットはリトルセント国際商社にトレードマークが登録されており、このマニュアルに登場する商品名、ブラントなどはその会社が登録した、あるいは登録寸前のトレードマークです。この商品とマニュアルはCINEGEARSの著作権によって登録されたもです。CINEGEARSに許可なしでこのマニュアルや商品の大量生産や配信はしないようお願い申し上げます。



CINEGEARS (こついて

CINEGEARS INCはデジタルワイヤレスフォローフォーカスシステム、レンズ コントロールシステム、カメラモーションコントロールシステムや撮影、 配信の際に必要なアクセサリーや装置を開発する会社です。私たちの会社 は、想像力やアイディアの力を強く信じているため、ペガサスケーブルカメラ ワイヤレス送信機を内蔵されたワイヤレスモータードライブ、そして ワイヤレスフィンガーホイールコントローラーなど素晴らしい商品を生み出し ております。CINEGEARS INC製ワイヤレスレンズコントロールシステムは 国際CE認証がすべての機材に与えられております。我が社のレンズ コントロールシステムの特徴点は、一流レベルのフォーカスプル、それと 正確なコントロール性です。このようなテクノロジーは、我が社のペガサス をよりスムーズに、正確にコントロールするために使われております。

わたし達はBC州のバンクーバーで7年間営業し、私達の機材はおよそ百の映画 作品に使用されています。どんな映画製作者でも、我が社のシンプルで プロレベルで、幅広い使用を可能にするフォローフォーカスキットを使えば、 成功間違いなしです!我が社のシングル軸とマルチ軸モデルは簡単に使用 が可能の上、余計な人材とワイヤーは必要ありません。少数な予算でも、 プロ並みの映画を撮影、製作、そして配信を可能です。カメラオペレーター、 アシスタントカメラオペレーター、そしてジブオペレーターも我が社の ワイヤレスフォローフォーカスを使うことで決定的な瞬間を収めることが 可能です。



お客様サポート

もし使用中、商品に何らかの不具合がありましたら、ご連絡ください。 商品を購入した小売店には連絡しないでください



CINE GEARS INC. (USA) Frederick, Maryland 21701, USA

Tel: 1 206 462 2858

Toll Free: 1 800 693 8883

CINE GEARS INC. (Canada) 47 East South Street, Suite 401 2nd floor 2010-9111 Beckwith Road Richmond, BC V6Y 2C3, Canada

Tel: 1 604 243 9995

